

令和6年度
冬季企画展

阿
咩
の

狛犬 Komainu

Komainu

「勇獅子」形式の出雲狆犬（出雲唐獅子）
明治40（1907）年～大正6（1917）年頃（推定）

古写真を中心に辿る たと
Izumo Karashishi
出雲唐獅子

フ
ォ
ト
グ
ラ
フ

居獅子
現代の

居獅子（製作を途中までに留めた未完成品）
現代の名工・伊藤暢保（みちほ）氏 作：当館蔵

縣 特 根 島 產

(子獅唐型勇)

『来待石製品 各地方御届値段表』表紙（昭和初期、発行：石文商店）

モニュメント・ミュージアム

来待ストーン

MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE

2024

2025

12/11(水) ▶ **3/10**(月)

休館日：火曜日（祝日の場合翌平日）
年末年始（12/29～1/2）

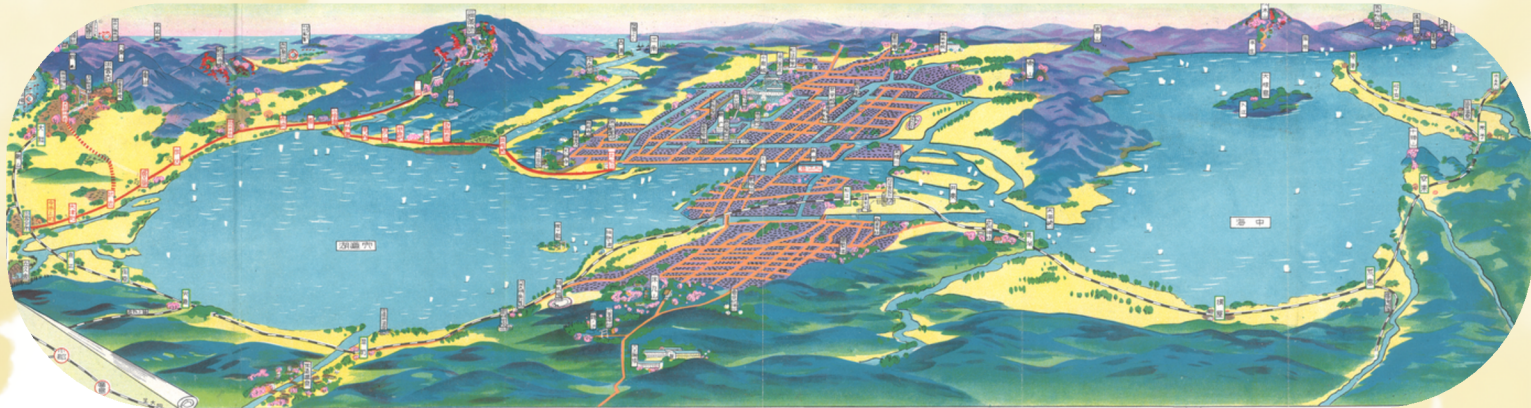
主催：(一財) 宍道湖西岸森と自然財団
モニュメント・ミュージアム 来待ストーン

後援：来待石灯ろう協同組合

協力：(公財) 交通文化振興財団 交通資料調査センター

「唐獅子図」(居獅子)『石谷家資料』：当館蔵

※ フォトグラフ (Photograph) = 写真



『松江案内』（昭和初期、発行：松江市）

来待石（凝灰質砂岩）の層は、宍道湖南岸の来待周辺に分布しており、石山（石切場）で採石された来待石は、宍道湖から船などで松江方面に運ばれました。そして、建材、狛犬（唐獅子）、石仏、墓石、石塔、灯籠や、石臼などの生活用具に加工して販売され、その販路は出雲地方のみならず、日本海航路などを介して全国各地に運ばれていました。※現在、国内での輸送は陸送が主体です。



いさみじし
勇獅子

いずも こまいぬ
出雲狛犬
（出雲唐獅子）

いじし
居獅子

- 「獅子」（角なし）・「狛犬」（角あり）ではなく、角がない「獅子」・「獅子」で一對を成している。
- 姿勢：居獅子（座型）、勇獅子（構え型）の2種類
- 耳は垂耳、尻尾は筆先のような形状の立尾
※ 初期の居獅子の尻尾は丸みを帯びた形状

今回の企画展では、戦前に発行された絵葉書を中心とした古写真資料などによって、各地に運ばれていた出雲狛犬を紹介するとともに、狛犬を製作していた石材店や石工に関する資料なども紹介し、その歴史や分布を辿ります。

関東の江戸狛犬、関西の浪花狛犬とともに、日本三大狛犬と称されることもある出雲狛犬（出雲唐獅子）は、出雲地方の伝統的な石材である来待石を用いて、江戸時代から製作されてきた石造狛犬です。その分布域は主に日本海の沿岸地域を中心に、北海道から九州北部まで、広範囲にわたっています。

出雲狛犬は信仰の対象物だけではなく、昔のその土地の産業、民生、文化を知る重要な資料となるのである。
（橋本万平『狛犬をさがして』）



【来待石の彫刻体験】

受付時間 … 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 16:00
体験時間 … 約1時間30分
料 金 … 一 般 2,030円
小中学生 1,340円

来待石工房



（20 cm × 20 cm）

【来待石の時計作り体験】

受付時間 … 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 15:00
体験時間 … 約1時間
料 金 … 1,800円

来待石工房



【来待石のペンダント作り体験】

受付時間 … 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 16:00
体験時間 … 約15分
料 金 … 500円

来待石工房



【陶芸体験】

陶芸館

受付時間 … 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 15:00
体験時間 … 約2時間
料 金 … 一 般 2,700円
小中学生 2,010円
※ 月・金のみ実施：要予約

【絵付け体験】

陶芸館

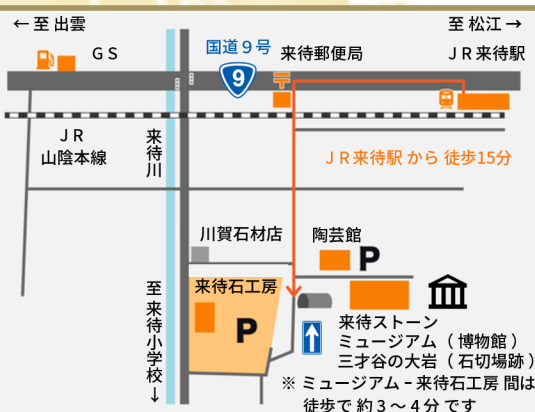
受付時間 … 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 16:00
体験時間 … 約40分
料 金 … 1,240円
※ 要予約



※ 陶芸作品・絵付け作品は、焼き上がりまでに約3ヶ月かかります。

来待石の石粉は、石見焼、石州瓦など、焼き物の釉薬（うわぐすり）として使用されています。

丸い尻尾の居獅子
写真提供：坪内正史氏
（おもや彫刻）



- ◆ 入館料（ミュージアム）
一 般 … 390円（320円） / 小中学生 … 190円（150円）
※（ ）内は15名以上の団体料金
- ◆ 開館時間
9:00 ~ 17:00（最終入館16:30）
- ◆ 休館日
火曜日（祝日の場合翌平日） / 年末年始（12/29 ~ 1/2）



〒699-0404 島根県松江市宍道町東来待1574-1
TEL 0852-66-9050 / FAX 0852-66-1430
WEB <https://www.kimachistone.com>



石切場跡の博物館

来待ストーン

- JR 松江駅 から車で 約 25 分（14 km）
- JR 来待駅 から徒歩 約 15 分（1.6 km）
- 出雲空港から車で 約 20 分（10 km）

企画展『阿吽の狛犬フォトグラフ 古写真を中心に辿る出雲唐獅子』特別号

開催期間：2024年12月11日（水）～2025年3月10日（月）

- ◎ 「獅子」（角なし、阿形）・「狛犬」（角あり、吽形）で一对を成す形式は平安時代に成立し、宮中、貴族邸宅、社寺などに木製の獅子・狛犬が、魔除けや調度品として設置されるようになる。
- ◎ 平安時代後期になると、中国から石造の獅子（宋風獅子）が持ち込まれる。鎌倉時代頃になると、日本でも石造の獅子・狛犬が製作されるようになり、室町時代になると石造の小型奉納品も登場。
- ◎ 江戸時代、17世紀前半（1600年代前半）頃から、関東地方周辺で庶民による社寺の境内・参道への石造狛犬の奉納が始まり、その他の地方でも石造狛犬の奉納が次第に一般化していった。
- ◎ 関東地方の「江戸狛犬」、関西地方の「浪花狛犬」、出雲地方の「出雲狛犬」は、様々な狛犬形式の中でも特に数多く製作され、分布域も広範囲に亘っている。
- ◎ 戦後は、愛知県発祥の「岡崎狛犬」（花崗岩製）が全国的に広まった。

- ◎ 「出雲狛犬」（出雲唐獅子）の姿勢は、座型の「居獅子」と構え型の「勇獅子」の2種類。

- ◎ 現存最古の出雲狛犬は、金刀比羅宮（香川県琴平町）、天明元（1781）年、松江石工・門兵衛 作の居獅子。

- ◎ 現存最古の勇獅子は、出雲金刀比羅宮、（松江市東出雲町）、寛政3（1791）年、松江石工・門兵衛 作。出雲地方では勇獅子、遠方の

地方では居獅子が多く奉納されている。



勇獅子



居獅子

- ◎ 出雲狛犬は、来待石製、角がない獅子で一对、垂耳、筆先のような形状の立尾（初期は丸尾）などが特徴。
- ◎ 台座は、角台座（□）と円形台座（○）の2種類。
- ◎ 出雲狛犬は全国各地に運ばれ、その分布は日本海側を中心に北海道から九州北部まで、広範囲に亘っている。

【出雲狛犬に関する参考文献】

廣江正幸・永井泰『出雲・石見 狛犬見聞録 来待石・福光石の唐獅子文化』（ワン・ライン、2010年）

永井泰・齋藤正『島根の石造物データ 狛犬を中心とした幻の石工達の実態にせまる』（私家版、2010年）

廣江正幸「出雲の狛犬 来待石の唐獅子文化」（アジア遊学 No.135『出雲文化圏と東アジア』所収、勉誠出版、2010年）



モニュメント・ミュージアム

来待ストーン

MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE

※ 毎月発行のニュースレターはホームページで閲覧・ダウンロードできます。



〒699-0404

島根県松江市宍道町東来待 1574-1

休館日：毎週火曜日（祝日の場合翌平日）/ 年末年始

☎ 0852-66-9050